

**桐生市立小中学校適正規模・適正配置基本方針に関する地域住民説明会
(川内中学校区) の概要について**

○日 時 令和5年9月5日(火) 午後3時～午後4時8分

○場 所 川内公民館 集会室

○参加者 【地域住民】 15名 【報道機関】 なし

○質疑応答

・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発 言 者	発 言 内 容
地域住民	<p>なかなか分かりやすい説明で素晴らしいと思いました。それで、結果的には、最後に出ています相生中との合併が進んでしまっているというか、そうじゃないですよと言われても、この説明を受けてしまうと、もう川内は相生ですねというような受け止め方をしちゃうんですよ。資料33ページの検討組織での協議について、第1段階、第2段階、そして教育委員会への報告という形で進んでいくわけですけども、その辺のことが、ある程度もう決められているんじゃないか、もう相生中学校と合併する方向で進みますよと私は取ったんですけども。第1段階、第2段階で色々と検討委員会を開いても、結局それも難しくなっちゃうんじゃないのかなということになると、先ほども出ましたが通学時間30分というのは大人で大体2キロですよ、バスでも何でもスクールバスでもなんでも、なかなか川内から相生小学校、中学校と行く場合にうまくいくのかなと。今、おりひめバスでもなかなかうまくいかないようなことがありますのでね。ちょっと話は変わりますが、今、移住促進とか色々やっていますよね。そういう中で、この方向で進んじゃうと、学校がなくなっちゃった場合に、わざわざ川内に移住して住もうかなっていう人はますますいなくなっちゃうんですよ。そういった考え方についてどう思っているのかなと思います。</p> <p>通学の方法もあくまでもこれからの検討ですという形ですけども、そんなにもう時間はないと思うんですよ。2年後かなんかに始まっちゃうとすると、その辺をちょっと聞かせてもらいたいんですが。</p>
事務局 (教育未来室長)	<p>お尋ねの件については3点あったかと思います。</p> <p>1点目ですが、この資料を見ると、学校規模の適正化の取組として、相生中学校区との統合があるのではないかというご質問であります。あくまで例示でございます。この資料を参考にしまして、川内中学校区内で検討委員会を設置していただき、まずは、子供たちのために、これからの教育環境をどうしたらいいか、学校規模の適正化についてどのようにしていくか、保護者の皆様、地域の皆様と協議を進めさせていただいた上で、最終的にどうしたら良いかといったところも、行政だけで一方的に決めるのではなく、丁寧にご意見を伺うとともに、ご理解いただきながら、そういった具体的なお話をさせていただくということをお願いしたいと考えております。</p> <p>2点目ですが、ご心配いただきました通学の問題につきましては、ご指</p>

発言者	発言内容
	<p>摘のとおり、学校統合等があった場合には、通学距離が伸びるお子様がかなり出てくることが考えられます。教育委員会としましては、児童生徒の皆さんが安全に学校に登校できるよう、色々な調査をしながら、検討しなくてはならないと考えております。また、子供たちや保護者の皆様の負担をできる限り軽減できるよう配慮させていただきたいと考えております。また、これから検討していただくこととなりますので、具体的なところは申し上げられませんが、通学時間を30分以内にできるように、努めてまいりたいと考えております。</p> <p>3点目ですが、学校が廃校となった場合に、地域はどうなるんだというご心配ですが、そういったご心配は当然あるかと思えます。学校施設は、単なる教育施設だけではなくて、地域における防災拠点の役割、地域における文化・スポーツの活動拠点となるものでございますので、まちづくりの観点から、総合的に検討する必要があるものと考えております。</p>
地域住民	<p>関連でいいですか。少子化現象が全国的な問題となっていることは私も理解しております。また、基本方針の説明ですが、内容的には十分理解いたしました。</p> <p>ただ、この川内町16区は特性がありまして、非常に街から離れた山間部にあるものですから、基本方針どおり、統合するというのはなかなか難しさがあるんじゃないかなと私は個人的に考えます。それで先ほどお話がありましたとおり、学校がなくなるというのは、町が過疎化する方向にどんどんどんどん進んでいくのは間違いない現象かと思えます。</p> <p>今後の課題が色々あるのでしょうけど、この川内地区は非常に街から離れた山間部ですので、小中一貫校を残すとか、これからの色々な取組があるかと思うんですが、そういう課題を是非検討していただいて、この16区川内町がますます過疎化された町にならないように市の方も協力いただかないと、どうしても川内というのは山間部でありますし、非常にこの川内地区というのも世帯数の多い町であります。そんな関係で、伝統のある町をこれから若い人たちが維持していくには学校教育が一番大切な文化と思うんですが、それだけに割り切って進めていける問題じゃないかなと私個人的に考えておりますので、今後色々検討する中で川内地区だけは小中一貫の学校を残そうとか、色々な案があるかと思うんですが、そういうものを今後検討していただいて、より良いまちづくりにご協力いただければと思っております。</p>
地域住民	<p>すみません。今、前のお二人の方の話を聞いていると、何となく川内の子たちは相生に行くみたいな話に取れたんですけども、折角、地図を付けていただいたので、地図を見ますと、川内の奥の方の子たちは相生に行くには30分では無理ですよ。でも、相生の子たちが川内に来るには30分で通学できます。</p> <p>お二人の意見で、川内の人たちが相生に行くぞという意識でいますよ、と思われると困るので、逆の考え方をしている住人もいるということを教</p>

発 言 者	発 言 内 容
	育委員会の人たちにも理解していただきたいなと思います。
事務局 (教育未来室長)	<p>順を追って、改めてお話をさせていただきます。川内中学校区と相生中学校区が統合するとか、仮に統合するとしても学校の配置場所はどこにするとか、小中一貫校は設置しないとか、そういったことを決定し、それをご説明しているということは一切ありません。あくまで、児童生徒数や地理的な問題等を踏まえた状況をお話しさせていただいているものです。</p> <p>教育委員会としましては、まずは、保護者の皆様、地域の皆様、学校関係者の皆様、そして色々な地域で子供たちを見守っていただいている皆様のご協力をいただきながら、検討委員会で協議をしていただきたいということを前提としております。しかしながら、教育委員会では、市全体として、子供たちの教育を考えたときに、小規模校の良い面もありますが、課題もあって、あまりにも今後著しく学校が小規模化した場合には、学校でどんなに努力しても課題の解決が難しいケースも出てくるのが考えられます。そうなる前に、一定の学校規模は確保したいということで、今回、基本方針を策定させていただきました。この点につきましては、教育委員会としては、十分にご理解いただけるように、他の地区と同様にお話をさせていただきたいと思います。</p> <p>また、ご指摘があったとおり、相生に行くとかこっちに行くというようなことは、仮に統合するとしても、学校の地理的状況、児童生徒数、施設の状況その他の様々な状況を考慮して、最終的に決定することになりますし、これまでの学校の統合でも、基本的にはそのように考えていたかと思えます。ですから、それも含めてご協議していただくということになります。教育委員会といたしましては、協議が円滑に進むよう努めてまいりたいと思います。</p>
地域住民	<p>私がひねくれているかもしれないですけど、基本方針を決めたということで、これだけのものを作られたということで、大変苦勞されたと思えます。</p> <p>ただ、川内の小学校の実状と中学の実状を説明する場合に、どことどこが組むという内容まで出してしまうと、今後、検討委員会が組まれるわけですが、その前にこれを出されちゃうと、どうしてもそういうふうを受け取っちゃうんですよ、そういうことではないと言っても。そういう中で、これを出さずに川内はこういう状況になっていますが、今後の検討の中でやっていくんですよということで説明を受ければ、ある程度、納得はするんですけども。</p> <p>どう見ても先ほどの話じゃないですけども、相生に行くから川内が行くからという話もありますよということになってしまっていると思うんです。ちょっと私ひねくれていますかね。</p>
事務局 (教育未来室長)	<p>このような表の出し方をしまして、色々な形でご指摘をいただくことがあり、色々な取り方があって感情的な部分もありますので、こちらとしても配慮も必要となる内容であると考えております。その上で、ご理解いただきたいのは、今回、基本方針では、今後、学校規模の適正化を検討する</p>

発言者	発言内容
	<p>際には、その中学校区内の小学校又は隣接する中学校区の小学校若しくは中学校を検討区域とする検討開始基準を設けさせていただきました。そうしますと現実的には、隣接するところは、地図だけ見ると他にもあるわけですが、相生中学校区と中央中学校区が隣接として考えられますので、それぞれの学校とのパターンを数字としてお示ししないと、将来がどうなのだろうと見えない部分もありますので、今回、例示として、お示しさせていただいたところがございます。</p>
地域住民	<p>小中一貫校のさっきの話なんですけど、私はできたら学校を残してもらいたいなという希望を持っています。時代の流れで、少子化の関係でそれはしょうがないだろうなとは思いますが、先ほど、前の方が言ったように小中一貫校でもいいから残してもらえらるようなことをしていただければ、地域の活性化もできるんじゃないかということも常々考えております。</p> <p>それと、本日、ここに集まるに当たりまして、何をやるのかなって私は分からなかったものですから、小中一貫校、適正配置の関係でお話だったものですから、どんなものかなと思ひましてですね、今日渡される資料だけでは分からないと思って、教育委員会が桐生市のホームページに出ている資料をダウンロードして、目を通したら、ああ、なるほどな、そういう流れなのかと思って、来たわけなんですよ。</p> <p>ところが、今日もらった資料ですと、最初にこれを見てなくてこの資料だけ渡されても何言ってるのかなって分からないんですよ。地域住民の人たちも分からないじゃないかってちょっと思うので、だとすれば、こんな良い資料ができていのに、もう少し、簡素化したやつを皆さんに、分かるようなものをある程度ここにお配りしてといて、そうすれば、もう少し理解が得られるし、色々な意見が出てくるんじゃないかなってちょっと思っています。それと、今回の資料の中で見ると、また、見直しがあるわけじゃないですか。再度見直しをやるよって話ですよ。それは、だんだんだんだん児童生徒が少なくなってきたら、だんだん見直しをする期間が短くなったとすると、これまたマイナスじゃないかなとちょっと思うんですね。</p> <p>それは何言っているか、愛知県の知多市があるんです。ラーケションといいまして、要は学習とバケーションと一緒にした取組が、最近日本全国だいたいしているような話をテレビのニュースで私見たんですけども、それについて調べてみたんですけど、少子化になった時にそういったことができて、桐生市では絶対無理だろうなと、子供たちのことを思うと、そんなのは少子化の中でこういうふうなことをやってたら、多分できないだろうと思ったものですから、そういったことも観点に考えていただいて、そのラーケション的なものが子供たちに対してできれば良いのかなと思ひました。ラーケションとは、どういうことかという、さっき言ったように、学習とバケーションを組み合わせるとラーケションって言うんですが、それは常日頃お母さん方が働きますよね、子供たちとの接触する機会がないと</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>いうことで、お母さん方の休みに合わせて、子供も普通の日、日曜日に土曜日じゃなくて、普通の日に取れるようなシステムですね。ですから、教育委員会も、そういう全国的な動きがありますので、そういうこともちょっと加味していただいて、お話をいただければありがたいのかなと思いました。</p>
<p>事務局 (教育未来室長)</p>	<p>先ほどから、同じことを申し上げてしまうのですが、小中一貫校での可能性につきまして、小中一貫校が良いのか悪いのかというのは視点により色々あると思いますが、それも踏まえて、検討委員会の中で検討していただくことであると考えております。しかし、それと合わせて、教育委員会として、市内全体で、子供たちのことを考えた時に、一定の学校規模はやはり必要になってくるということを申し上げ、説明しなくてはならないと考えております。その上で、結論を出ささせていただきたいと考えております。</p> <p>それと、資料について、資料が分かりづらい、あるいは説明が分からないという、ご指摘をいただきました。ありがとうございました。今後につきましても、検討委員会で検討していただきますが、その内容についてもホームページで、色々な検討状況を情報提供させていただきますが、その場でも、こういった基本的なことはしっかりご説明させていただきながら、進めさせていただきたいと思います。そのような形で、できるだけ市民の皆様、保護者の皆様、地域の皆様にご理解いただけるよう、努力してまいります。</p>
<p>事務局 (学校教育課長)</p>	<p>ラーケーションのお話をいただきましたが、ニュースで見させていただいたことがございます。やはり生活様式が大きくこれまでと変わってきたと、また家庭の構成等も変わってきて、子供たちが家の中でどんなふうに休日を過ごすか、また学校がある時、ない時にかかわらず、どんなふうに過ごしていくかということは非常に大事ななことだと思います。そんな中で、市としてのまちづくりについて、色々な方針等を立てながら、子供により良い生活が送れるようにということがございます。今後どんなふうにしていくかということは、研究していかなければならないかなと思いますので、そういった視点も入れながら、より子供たちの幸せがどんなところにあるのかという部分もしっかり考えながら、取り組んでまいりたいと思います。</p>
<p>地域住民</p>	<p>皆様、素晴らしい意見を言っていただきまして、ありがとうございます。私も黒保根の仕組みがいいかなと思っていたところなんですけど、それで本年度川内に移住者子供が5名ぐらい来たというような話を聞いておりますので、やはり魅力のある土地なのではないかと思います。ですから、黒保根と同じように家族で住めるような住居の提供をすれば、より県外の人たちも来てくれるかなと思いますので、その辺も含めて検討していただければ、川内は、有名な場所として、鳴神山、カッコウソウ、蛍、それぞれに有名な部分を子供たちに教育ということで見せながらやればなと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>先ほど後ろの方が話されましたけど、私も相生から呼んでもいいなと思っていたところなので、教育委員会の資料を見ると、完璧なところなのですけど、これから色々な形で検討が必要かなと思っています。</p>
<p>事務局 (教育未来室長)</p>	<p>区長さんからのお話にありましたが、地域のことというのは、まちづくりの観点も必要でありますので、市長部局とも連携を図りながら情報共有を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>色々な事を多角的に、検討組織の中ではご意見を賜りながら、協議を進めさせていただきたいと考えておりますので、ご理解いただければと思います。</p>